

# SADC地域のインフラ整備 に対するJICAの支援

平成24年3月14日

久津名博之

SADC事務局派遣専門家(JICA)

Hiroyuki Kutsuna

JICA Expert to SADC Secretariat

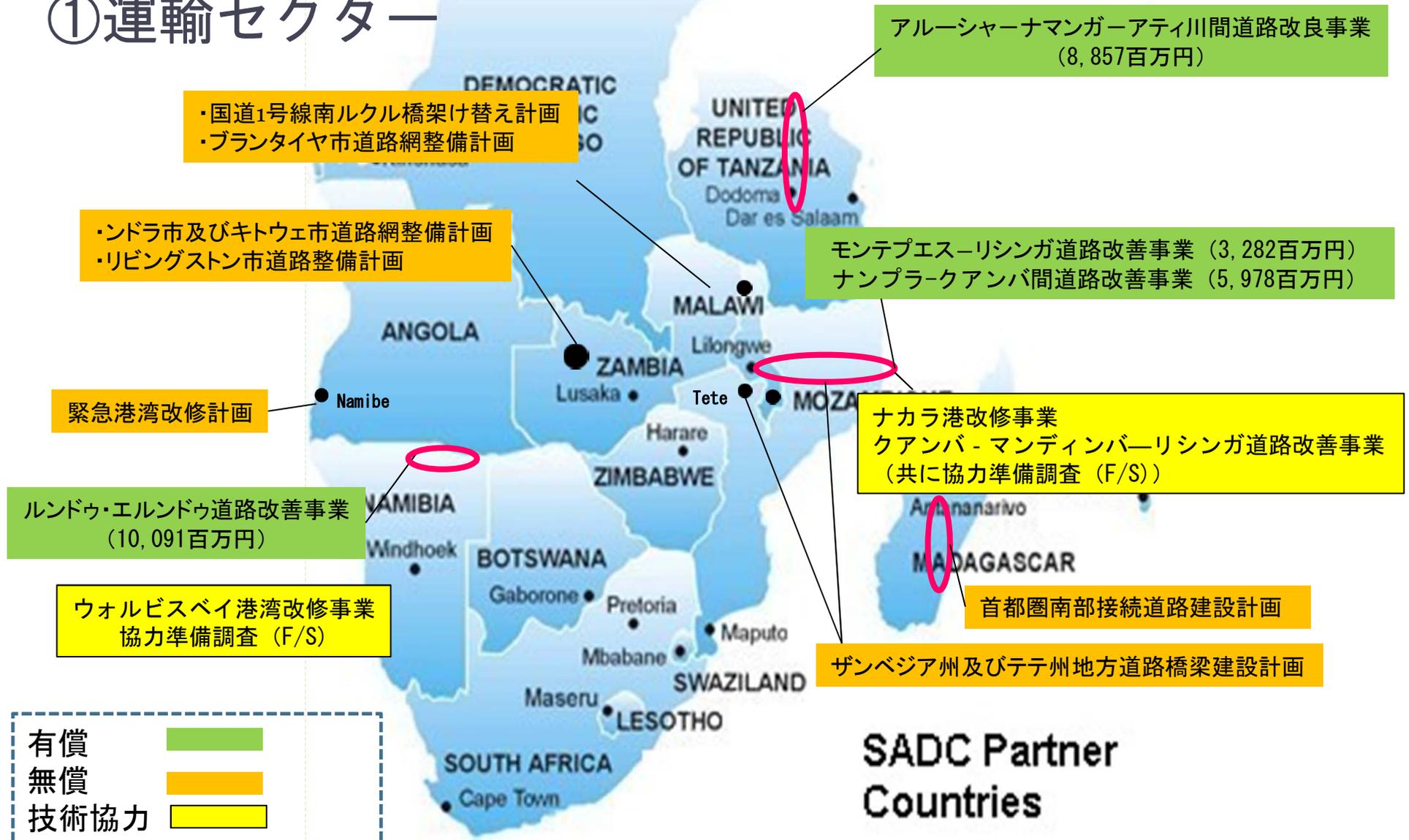
# SADCの特徴

- 加盟国：南部アフリカ15ヶ国（人口2.7億人）
- 設立：南部アフリカ開発調整会議（SADCC）から1992年に南部アフリカ開発共同体（SADC）に名称を変更。
- 目的：経済成長の促進及び貧困削減、地域統合、平和と安全の維持・促進、自立的発展の促進他。
- 事務局：ハボロネ（ボツワナ）
- 予算：加盟各国からの分担金と、EU等域外のドナーから拠出金（年間約67億円）



# JICA SADC地域に対する協力実績例

## ①運輸セクター



# JICA SADC地域に対する協力実績例

## ②電力セクター



# 案件支援例:ボツワナ共和国・ザンビア共和国 カズングラ橋建設事業(支援計画中)



## 事業概要

- ▶ ボツワナ - ザンビア国境間のカズングラにおけるエクストラ・ロード橋 (923m)、アクセス道路、国境管理施設の建設、コンサルティングサービス

## 事業の必要性と意義

- ▶ 南北回廊 (コンゴ民主共和国～南アフリカ共和国) は、南部アフリカ地域の重要回廊の一つ。内陸国であるザンビア、ボツワナにとり、回廊の整備は貿易促進に極めて重要。
- ▶ 現在、ボツワナ・ザンビア国境地点のカズングラにおける交通手段はザンベジ川を往復するフェリーのみ。
- ▶ 通行量の制約及び通関手続きの非効率性により車両の国境通過には平均約30時間を要し、カズングラは南部アフリカ地域における物流のボトルネックとなっている。
- ▶ 本事業は、10年以上に亘りボツワナ、ザンビア、南部アフリカ開発共同体 (SADC) で構想された優先事業 (南部アフリカ地域の悲願)。

### 【意義・期待される事業効果】

- 輸送の効率化による、南北回廊周辺地域における物流の改善
- ⇒ボツワナ、ザンビア及び域内の貿易促進
- ⇒南部アフリカ地域の経済開発の促進

## 対象地域



国境付近で通関手続きを待つ車列



カズングラの現在の様子(小型フェリーにより人、車両を輸送)

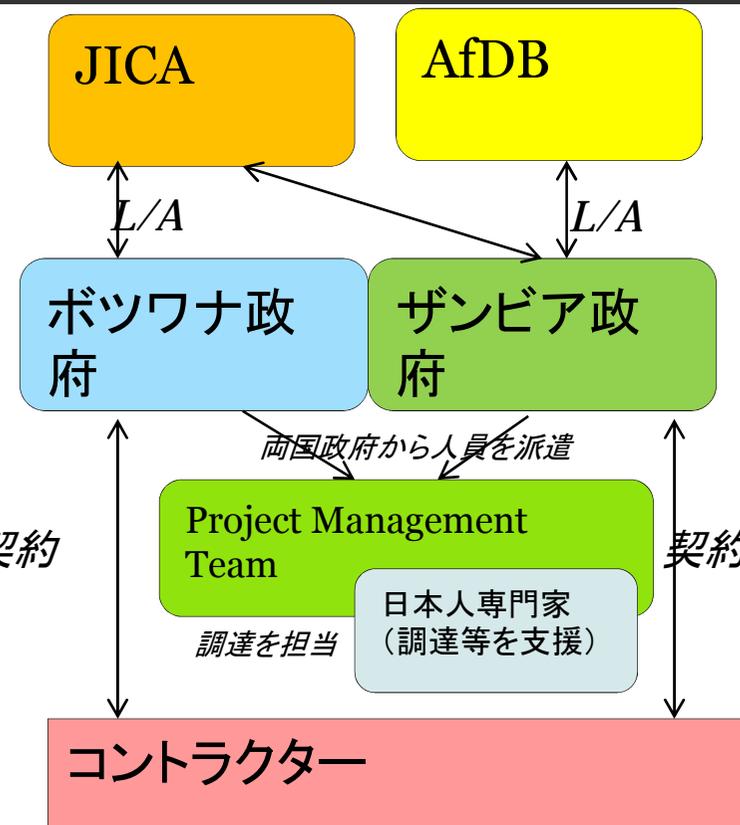
# カズングラ橋建設事業（事業概要）（検討中）

1. 橋梁はエクストラ・ドーズド方式を採用（道路と鉄道の併用橋）
2. 借款供与額は検討中（アフリカ開発銀行との協調融資）
  - コンサルティングサービス、橋梁については、JICAの調達ガイドラインを適用し、JICAが調達監理（調達手続きに関する実施機関への同意）を実施
3. 技術協力による支援
  - スムーズな事業実施のため、外部専門家を実施機関に派遣し、調達手続き支援等、実施を促進
  - 橋梁建設のみならず、通関手続きの円滑化（ワンストップボーダーポスト化）、橋梁・道路維持管理の技術協力も検討。

## ●事業スケジュール（予定）

2012年4月	借款契約（L/A）調印（予定）
2012年上半期	コンサルティングサービス調達手続き開始
2012年下半期 ～2013年上半期	コンサルタントによるデザインレビュー、調達準備
2013年下半期	土木工事入札（～完成予定：2017年12月）

## 【完成イメージ図】



# SADC地域回廊整備に対するアプローチ

## 南部アフリカ成長ベルト 広域協力プログラム準備調査 (2010年)

1. 目的: 経済成長の加速化に資する運輸・電力・水等の経済基盤(インフラ)の整備
2. 内容: 運輸インフラ整備(道路、橋)、国境交通支援(ワンストップボーダーポスト)、等

### 3つの成長ポテンシャル

鉱物資源・農業  
開発

域内貿易促進

産業構造の多  
様化・高度化

### 主要地域回廊開発

地域横断的な  
制度・政策改善

マプト回廊開発プログラム

南北回廊開発プログラム

ダルエスサラーム回廊開発プログラム

ベイラ回廊開発プログラム

ナカラ回廊開発プログラム

トランスカプリビ回廊開発プログラム

トランスカラハリ回廊開発プログラム

ロビト回廊開発プログラム



- ・市場の統合と貿易促進のために、回廊に着目した支援が重要。
- ・交通量調査や資源のポテンシャル等から主要地域回廊を特定し、回廊毎の成長シナリオを検討。
- ・今年、DBSAと連携し、主要回廊における具体的な案件形成のための調査を実施予定。

# JICA

## インフラ整備に対する支援アプローチ

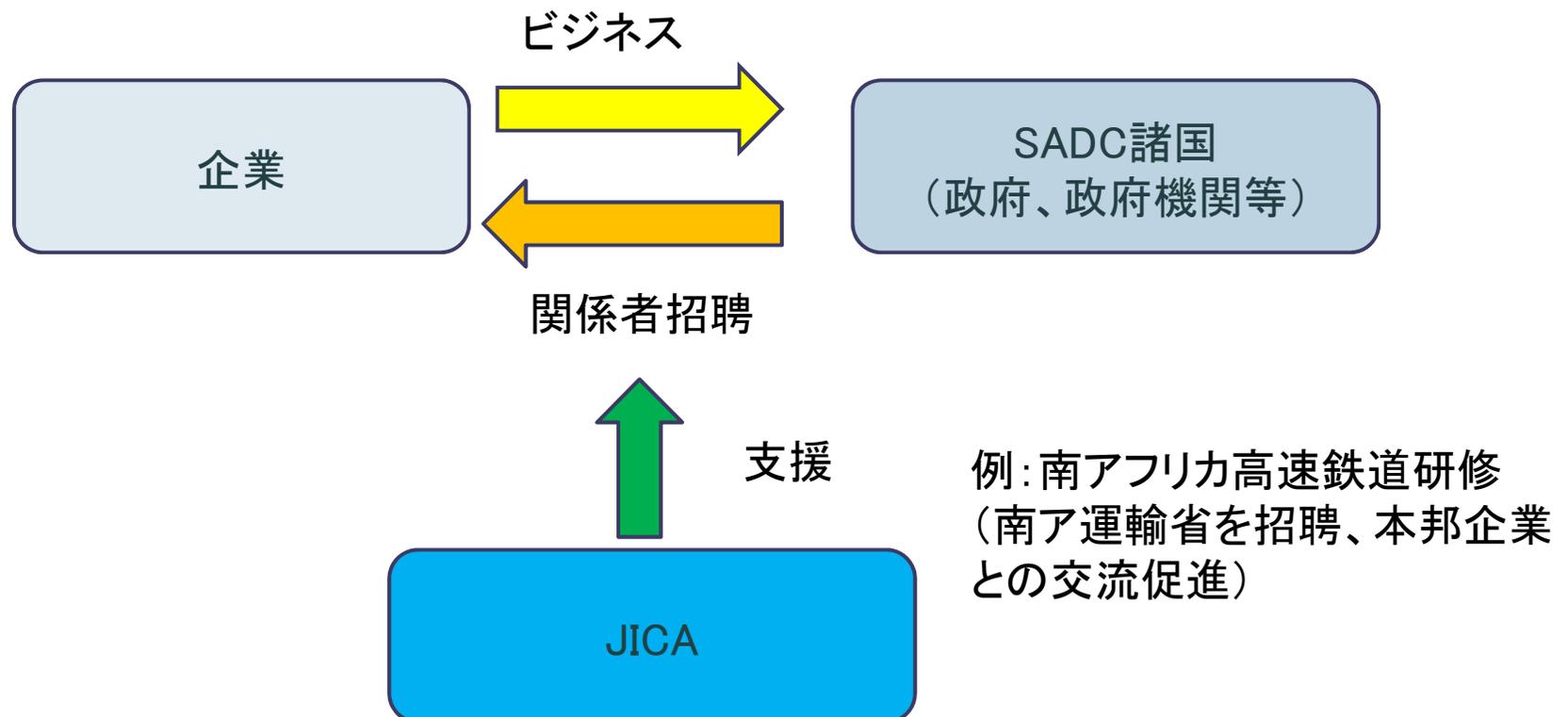
- ① 研修
- ② 資金協力と技術協力
- ③ 南部アフリカ開発銀行（DBSA）との連携

⇒ 官民連携の推進

# JICA インフラ整備に対する支援アプローチ

## ①研修

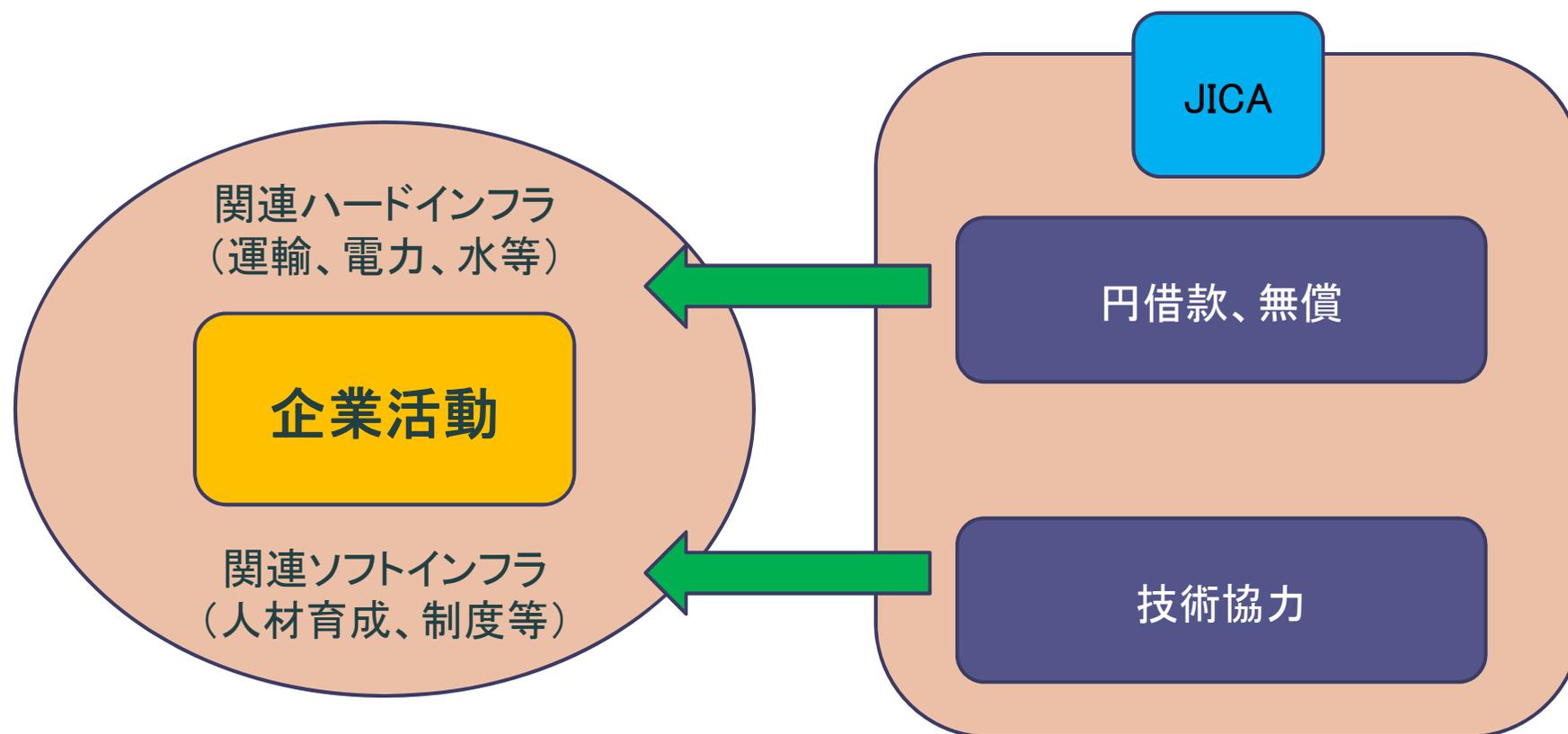
インフラ整備に関心を有する企業とSADC諸国との技術協力、人材交流をサポート



# JICA インフラ整備に対する支援アプローチ

## ②資金協力と技術協力

企業活動を取り巻くインフラ（ハード、ソフト）の整備を支援

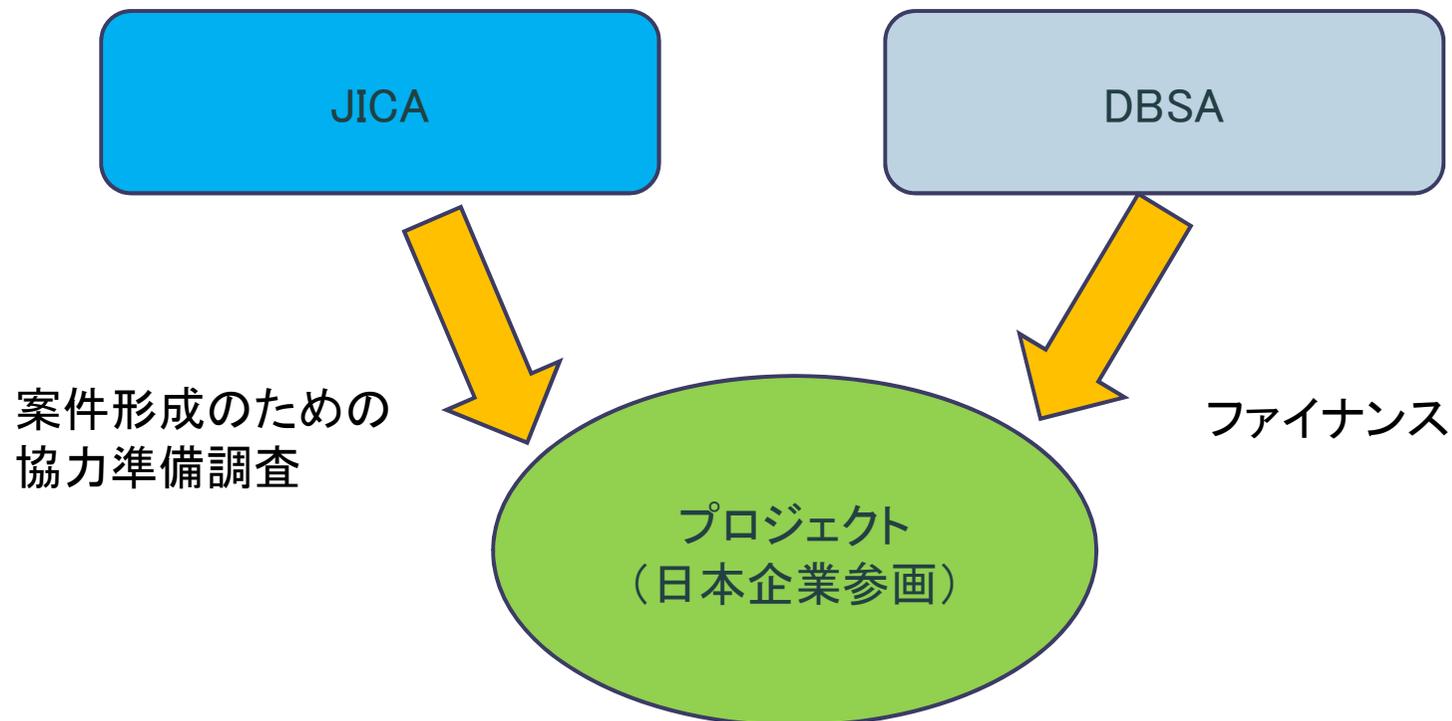


・支援例：モザンビーク・ナカラ回廊にて、本邦企業の現地活動の輸送路となるインフラ整備を円借款により支援。

# JICA インフラ整備に対する支援アプローチ

## ③南部アフリカ開発銀行（DBSA）との連携

- ・本邦企業参画案件の形成に係る協力（導入検討中）



# 連絡先

- SADC事務局 久津名博之：[hkutsuna@sadc.int](mailto:hkutsuna@sadc.int)
- JICA本部 アフリカ部アフリカ第三課  
(代表電話：03-5226-8285)

## JICAの海外事務所（南部アフリカ地域）

南ア、モザンビーク、マラウイ、タンザニア、  
ザンビア、マダガスカル、DRC、ボツワナ、ナ  
ミビア、アンゴラ、ジンバブエ  
(ボツワナ、ナミビア、ジンバブエは支所、アン  
ゴラはフィールドオフィス)

